

- 当社では、生産工程効率化等設備として、3000 tクラスの大型高圧プレス機、1500 tクラスの大型高圧プレス機、太陽光発電設備をそれぞれ導入します。
- これにより、耐火物等の製造に伴って排出されるCO₂を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月～2024年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を11.5%向上させる。

3. 前向きな取組の内容

生産工程効率化等設備として、日生工場に3000 tクラスの大型高圧プレス機、吉永工場に1500 tクラスの大型高圧プレス機、瑞浪工場に太陽光発電設備をそれぞれ導入することにより、炭素生産性を11.5%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（CN投資促進税制）

大型高圧プレス機導入例（既設の大型高圧プレス機）



太陽光発電設備導入例
（太陽光発電設備 貝塚工場 2021年度設置）

